RIDC

RIDCワークショップ

モンゴル高原における製鉄遺跡研究

講師：イシツェレン・ロチン　ISHTSEREN Lochin

PhD　モンゴル科学アカデミー考古学研究所 研究員

東北大学東北アジア研究センター　外国人研究員

2026年

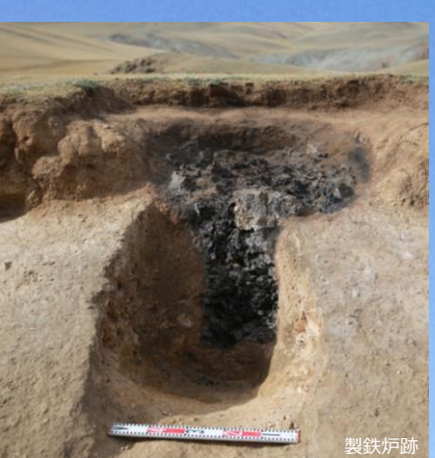
11月11日 水 14:00-16:00

岡山大学津島キャンパス

岡山市北区津島中1-1-1 **文法経*1*号館３階 *357***

(1号館3階エレベーターを上がり左に進んだ部屋です)

イシツェレン先生のご講演ののち、参加者との意見交換を行い、モンゴルにおける鉄器生産・製鉄技術や考古学研究の現状について議論したいと思います。


製鉄炉跡


調査風景


グング遺跡の背景写真


製鉄炉跡


製鉄遺跡の遠景

写真提供：イシツェレン・ロチン氏



講師紹介

モンゴル考古学を専攻とし、特に匈奴からモンゴル帝国にかけての鉄器生産や製鉄技術、城址・集落の研究に取り組んでいる。

日本をはじめとする各国の研究者と共同調査・研究を行っている。

お問い合わせ

岡山大学 文明動態学研究所

ridc@okayama-u.ac.jp 086-251-7442

申し込み不要、当日参加も可能です。

本ワークショップは、科研費（課題番号：JP24KK0012）の研究成果の一部を使用した。